

# 宇大で学ぶためのツールを知ろう。

宇大で学修を進めるためには、大学が提供する様々なツールを活用することが欠かせません。ここでは、その中でも特に重要な「教務ポータル」と「C-learning」について紹介します。

## 大学からのお知らせ／履修登録／シラバス／アンケート／フォーラムなどは

### 教務ポータル

履修や学生生活に関することなど、大学からの重要なお知らせが日々掲載されています。毎日必ず1回はチェックし、情報を知らなかったことによる不利益を被らないようにしましょう。

- 大学からのお知らせを確認するとき
- 履修登録をするとき
- 授業のシラバスを確認するとき
- 休講情報を確認するとき
- アンケートに回答するとき
- フォーラムを利用するとき

こんなときには  
教務ポータルを  
チェック！



パソコンからアクセスする場合はこちらから▼  
<https://kyomu.km.utsunomiya-u.ac.jp/campusweb/>

## 各授業担当教員からのお知らせは

### C-learning

各授業担当教員から、毎回の授業の指示や、課題提出の指示などが掲載されています。教員と学生との様々なコミュニケーションも、C-learningが活用されることが多いので、毎日必ず1回はチェックするようにしましょう。

- 教員からの指示を確認するとき
- 授業の資料を確認するとき
- 課題の内容を確認するとき
- 課題の提出方法や期限を確認するとき
- 教員に質問や相談をするとき

こんなときには  
C-learningを  
チェック！



パソコンからアクセスする場合はこちらから▼  
<https://udat.c-learning.jp/s/login/ssosaml>

### 教務ポータルに 学外ネットワークからアクセスするには

2段階認証が必要となりますので、パソコンから下記URLにアクセスし、画面の指示に従い、ワンタイムパスワードの初回設定を行って下さい。

<https://ent.utsunomiya-u.ac.jp/usa/q/secret.php?st=q>

### 宇大に在学中は無料で Microsoft Office365を利用できます

レポート作成や表計算、プレゼンテーション資料の作成などに活用できるソフトウェアを無料で利用できます。詳しくは教務ポータル上の案内を参照して下さい。

## 悩みや心配事のご相談は

あなたが大学生を送るうえで、悩みや心配事が起きてしまったときは、お気軽に窓口にご相談ください。相談に応じてサポートします。もちろんプライベートに配慮し、秘密厳守です。

### 困ったらまずはこちらに

#### 学生なんでも相談窓口

- 峰地区〈学務棟2F〉 TEL028-649-5276
- 隅栗地区〈学生プラザ1F〉 TEL028-689-6189



- WEBから

『学生なんでも相談窓口/相談フォーム』に入力後、送信してください。  
(相談例/修学・履修、留学・進路・就職活動、日常生活・経済的なこと、セクハラ、ハワハラ、対人関係、メンタルヘルス、アクシデント、その他)

入力は  
こちらから



### はっきりした相談は各担当へ

#### 修学・履修は

- 指導教員
- 修学支援課 TEL028-649-5090
- 隅栗学務課 TEL028-689-6014

#### 留学、生活、サークルについて

- 指導教員
- サークル顧問教員
- 留学生・国際交流センター TEL028-649-8166
- 学生支援課 TEL028-649-5097

#### ハラスメント等の人権侵害の悩み

- ハラスメント相談員
- ★ハラスメントについてはこちらを参照下さい →

#### 進路・就職は

- 指導教員
- 就職担当教員
- 就職・キャリア支援センター TEL028-649-5089

#### 健康、メンタル面の悩み

- 保健管理センター TEL028-649-5123

#### 性に関する事

- 男女共同参画推進室 TEL028-649-5151

### 学生による 支援活動

#### 『ピア・サポート制度』

学生生活上の悩みを抱える学部1年生(新入生を含む)に対し、在学生在が自身の経験等に基づいたアドバイスを行い、適切な相談窓口等の情報を提供します。

#### 『ラーニング・commons学生 スタッフによる学びの支援』 (ピア・サポート活動)

宇大生の学びを学生の目から支援しています。

commons  
Twitter

commons  
Instagram



!このカードはパンフレットから輪転に製することができます。常に携帯するか、スマホでブックマーク登録しておきましょう。

# 宇大での 4年間の学び

DP × UUSTD

宇都宮大学は、入学したすべての学生が、6つの力からなる宇大スタンダードと、専門分野に関する知識・技能を獲得した上で卒業できるように教育を行います。

みなさんが大学を卒業した後に活躍することになる社会では、多種多様な力や知識・技能、さらには教養や知性が必要になります。宇都宮大学では、これらの中から特に重要と思われるものをしっかりと身につけてもらうために、学位授与の方針である「ディプロマ・ポリシー (DP)」のもと、汎用的能力である「宇大スタンダード」を定めています。

みなさんは、ここに記されている力を獲得することを常に意識しながら、宇大での4年間の学びをスタートさせましょう。その上で、授業以外にも様々な経験を積み、社会に力強く歩み出して欲しいと思っています。



## 宇都宮大学の教育目標

- 1 基礎教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力(宇大スタンダード)を育成します。
- 2 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
- 3 それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

# DP

## 全学共通の ディプロマ・ポリシー (DP)

宇都宮大学は、教育目標に定める幅広い教養と行動的知性を備えた人材を育成するために、所定の期間に学して必要な単位を取得し、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能を獲得した者に学位を授与します。

# UUSTD

## 宇大スタンダードの6つの力

「宇大スタンダード」は、宇大での4年間の学びを通じて獲得すべき6つの汎用的能力を意味しています。これらの汎用的能力は、大学での学びに留まらず、職業や社会生活の中でも活用されることが期待されています。

協働力  
課題解決力  
「他者を巻き込み社会に貢献する」

情報活用力  
論理的思考力  
表現力  
「学修のためのツールを獲得する」

学修力  
「自身と向き合い  
なすべきことを知る」

## 基盤教育から始まる宇大での学び。 大学での学び方を確実に身につける。

大学での学びとはどのようなものでしょうか。基盤教育を通じて、高校までの学びと大学での学びの違いを理解し、自分の学びを自分自身でコントロールできるようにしましょう(学修力)。その際には、主体的に興味関心の幅を広げ、新たな知の世界へと踏み出すことで、自分の強みや足りないものを強く自覚することが重要です。何を学びたいのか、何を学ばなければならないのかを深く理解することが、自身の学びをコントロールすることへとつながっていくはず。このようにして身につけた学修力は、4年間の学びの強力な原動力になります。

### 1年次



#### 〈学修力〉

一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力。変化に対応し、自らを変えようとする力。

## 専門分野の学びを本格的に始める。 社会を理解し、社会に発信する力を身につける。

学年が進むと、専門分野に関する深い学びがスタートします。1年次で培った学修力を発揮し、学問の世界や世の中で起きていることについて主体的に情報を集め、知識を身につけていきましょう(情報活用力)。情報や知識をインプットするだけでなく、それをもとに粘り強く思考を巡らせ(論理的思考力)、自分の考えを発信していくことも重要です(表現力)。こうした姿勢は、社会に出た後にも強く求められます。

### 2年次



#### 〈情報活用力〉

情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力。



#### 〈論理的思考力〉

筋道を立てて論理的に物事を考える力。



#### 〈表現力〉

感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力。

### 3年次

## 4年間の学びの集大成としての卒業研究。 大学生活をふり返りその後のキャリアに活かす。

最終年次では卒業研究に取り組みます。その過程で、多くの仲間たちと支え合いながら学びを進めていくことの重要性に気づくでしょう(協働力)。さらには、卒業研究を通じて難問と悪戦苦闘した経験は、その後のキャリアで直面するであろう壁に立ち向かう際に大きな自信を与えてくれます(課題解決力)。就職や大学院進学など、どのような道に進んだとしても、宇大スタンダードの6つの力と専門分野の知識・技能がみなさんを支えてくれるはずです。

### 4年次

就職・大学院



#### 〈協働力〉

チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力。多様な人々との繋がりや協働を生み出す力。



#### 〈課題解決力〉

多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力。課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取り組む力。

※本パンフレットでは、宇大スタンダードの6つの力をどの段階までに身につけて欲しいかというイメージを示しています。例えば、「学修力」は1年次の段階で重点的に身につけて欲しいということを示していますが、2年次以降に「学修力」が不要であるということの意味するものではありません。また、「協働力」は4年次の欄に記されていますが、4年次になるまで「協働力」を身につけるための取組をしなくてはいけないということの意味するものではありません。宇大スタンダードの6つの力は、すべての学年においてしっかりと意識し、学びを進めるようにしましょう。